



令和5年度 水稻生育診断情報 No.5

(令和5年8月22日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

(今年度最終情報です)

現在の生育状況

- ◎7月4半旬以降、気温は平年並～高く、日照時間は概ね平年並～多く推移しており、作況調査の「みずかがみ」「コシヒカリ」の登熟は順調に進んでいる。「みずかがみ」「コシヒカリ」の成熟期は、平年よりやや早い見込み。
- ◎県内ほ場の5月上旬移植「みずかがみ」では、成熟期を迎えており、中生品種の成熟期は平年より早まるとみられる。

管理・収穫のポイント

- ◎葉色に惑わされず、必ず穂（籾）色を手にとって確認し、籾黄化率85～90%の時期に収穫する！（刈り遅れによる品質低下に注意！！）
- ◎根や葉の活力維持のため、収穫5日前まで湛水を保つ！
- ◎中生・晩生品種では今後も十分な水が必要なので、こまめな水管理を行う！

1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去10年間の平均)

要素		最高気温	最低気温	日照時間	降水量
7月	下旬	かなり高い	やや高い	かなり多い	かなり少ない
8月	月上旬	高い	やや高い	少ない	少ない
	中旬	高い	高い	平年並	多い

注) 気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)

日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)

降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

(2) 近畿地方1か月予報 (8/19～9/18の天候見通し) 【大阪管区気象台8月17日発表】

- 向こう1か月の天候は、近畿日本海側では天気は数日の周期で変わり、近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。
- 平均気温は、高い見込み。
- 降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。

2 生育状況

【農業技術振興センター 水稻作況調査による。表1、表2および後掲グラフ参照】

- 出穂期は、「みずかがみ」が7月23日（平年より1日遅い）、「コシヒカリ」が7月27日（平年と同日）、「きらみずき」が8月5日であった。
- 「みずかがみ」、「コシヒカリ」の成熟期は平年よりやや早い見込み。

8月21日現在の生育状況



「みずかがみ」
(出穂後 29 日)



「コシヒカリ」
(出穂後 25 日)



「きらみずき」
(出穂後 16 日)

表1 令和5年(2023年)水稻作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/㎡)				葉色(SPAD値)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
7/10	みずかがみ	80.5	80.1	100	93.3	423	519	81	500	40.9	40.7	100	41.9	12.6	12.4	0.2	12.8
	コシヒカリ	81.5	80.7	101	89.7	484	562	86	545	35.8	37.8	95	38.9	12.0	11.8	0.2	12.4
	きらみずき	65.6	-	-	-	549	-	-	-	37.3	-	-	-	11.7	-	-	-
7/20	みずかがみ	-	-	-	-	-	-	-	-	38.0	38.3	99	41.0	13.4	13.2	0.2	13.0
	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	34.2	38.3	89	41.2	13.3	13.0	0.3	13.2
	きらみずき	73.2	-	-	-	491	-	-	-	37.3	-	-	-	12.9	-	-	-
7/30	みずかがみ	-	-	-	-	-	-	-	-	36.5	37.2	98	40.1	13.4	13.2	0.2	13.0
	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	36.3	38.5	94	40.3	13.6	13.3	0.3	13.4
	きらみずき	83.0	-	-	-	459	-	-	-	34.6	-	-	-	14.0	-	-	-

※移植日：5月10日(播種日：4月21日)。栽植密度：18.5株/㎡、植付本数：3本/株

※「みずかがみ」「コシヒカリ」の平年は過去10年平均(平成25～令和4年)の値。

※「きらみずき」は令和5年から調査開始

表2 水稻作況調査 生育ステージ

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種：「みずかがみ」

生育期	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	6月30日	6月29日	1日遅い	6月28日
出穂期	7月23日	7月22日	1日遅い	7月21日
成熟期	未	8月25日	—	8月24日

品種：「コシヒカリ」

生育期	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	7月5日	7月3日	2日遅い	7月2日
出穂期	7月27日	7月27日	同日	7月26日
成熟期	未	8月31日	—	9月1日

品種：「きらみずき」

生育期	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	7月14日	—	—	—
出穂期	8月5日	—	—	—
成熟期	未	—	—	—

※移植日は5月10日(播種日:4月21日)、栽植密度18.5株/m²、植付本数3本/株。

※「みずかがみ」、「コシヒカリ」の平年は、H25~R4年(10年間)の平均値。

※「きらみずき」はR5年から調査のため、平年値は無い。

3 今後の管理

(1) 適正な水管理

- 登熟期に水が不足すると稲が十分に光合成できず、白未熟粒や胴割粒の発生、籾の充実不足が助長されるため、**出穂前後各3週間は常時湛水管理**を行う(図1)。
- **収穫の5日前まで湛水を保ち**、収穫作業に支障がない限り出来るだけ湛水期間を長くし、根や葉の活力を収穫直前まで維持させる(図2)。
- 倒伏しているほ場では、成熟期に近づくと穂発芽が懸念されるので、速やかな排水に努め、刈り遅れないよう注意する。

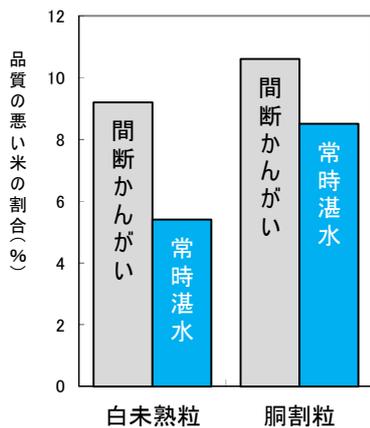


図1 出穂前後の水管理と白未熟粒、胴割粒との関係
(滋賀農技セ 2006年「コシヒカリ」)

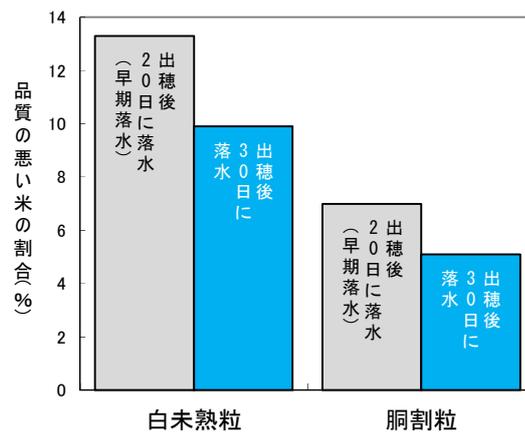
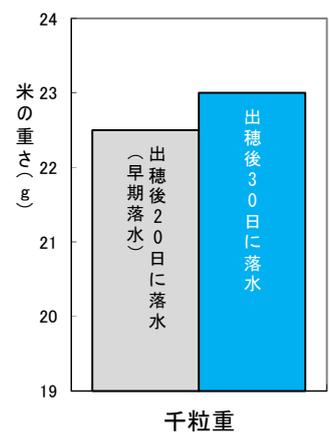


図2 落水時期と白未熟粒、胴割粒、千粒重(米の重さ)の関係
(滋賀農試湖北分場2004年「コシヒカリ」)



出穂前後の常時湛水で
白未熟粒、胴割粒が減ります

収穫直前まで入水すると、白未熟粒、
胴割粒が減り、収量も増加します

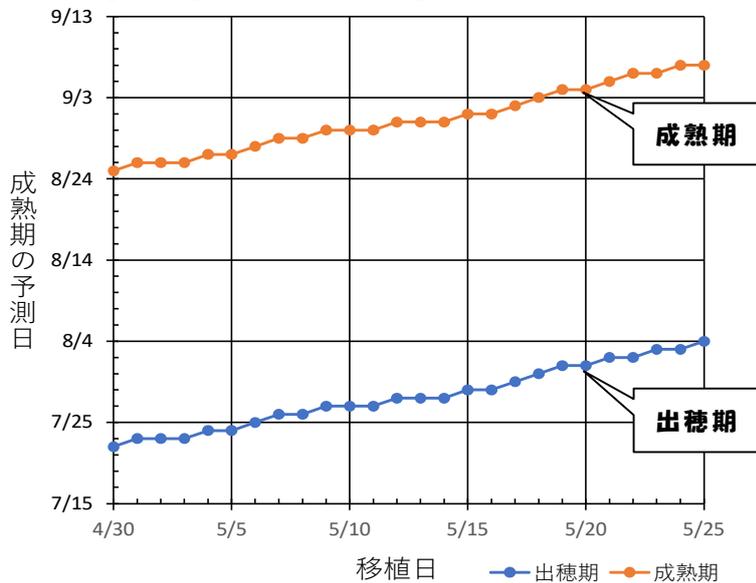
(2) 適期収穫

- ほ場内で出穂のばらつきが大きいところは、葉の色が黄化していなくても、籾は先熟している場合があるので、収穫時期が近づいたらほ場で穂（籾）色を手にとって確認して収穫適期を見極め、刈り遅れないよう注意する。
- 収穫適期は、穂の先端から3～4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃で、籾黄化率85～90%の時期である（目安は、籾黄化率50%程度で収穫7日前）。
- 出穂後の気温が高い年は登熟日数が短くなる傾向にあるので、早生品種（「コシヒカリ」等）だけでなく、中生品種（「秋の詩」等）でも、出穂後30日を過ぎたら収穫できるよう準備を整えておく。

☆登熟日数

	みずかがみ	コシヒカリ		きらみずき
水稲作況調査 H25～R4年	平均33日 (32～37日)	平均35日 (32～39日)	奨励品種決定調査 H27～R4年	平均38日 (33～43日)

【参考】「コシヒカリ」の成熟期の目安



注：農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）における「コシヒカリ」の稚苗移植の予測。
近江八幡市安土町大中より気温が高い地域はこれよりも早くなり、低い地域はこれよりも遅くなる。

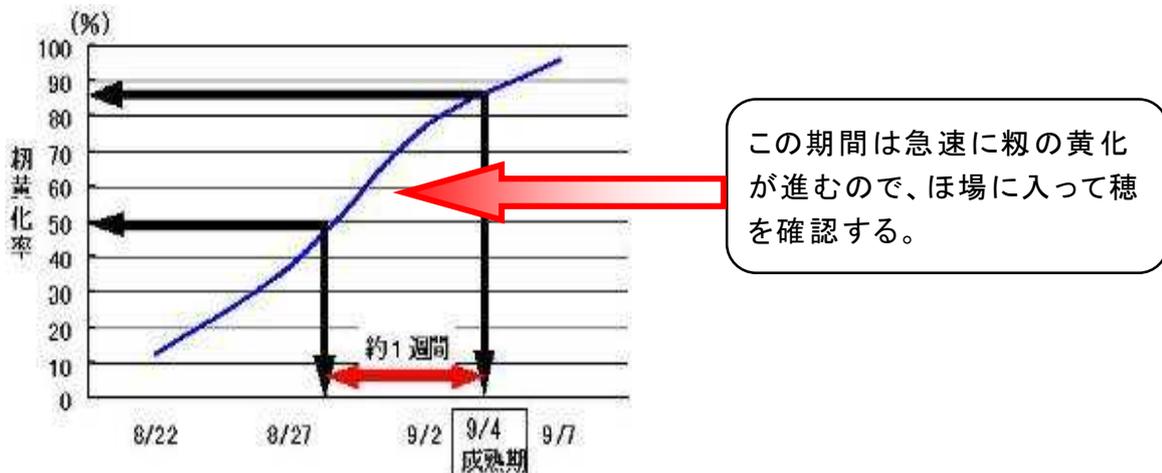


図3 成熟期前の籾黄化率の推移（農業技術振興センター2008年「コシヒカリ」）

注）調査方法：黄化籾の標準見本色を基準に黄化籾と青籾を目視で計数。

【適期収穫のポイント】 ★葉色に惑わされず、ほ場で穂を手にとって確認する。

収穫適期の目安	①穂の先端から3～4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃 ②籾黄化率85～90%
---------	--

★収穫7日前の目安：籾黄化率50%程度・・・収穫適期判定板を活用

**適期収穫で胴割粒を減らそう！
収穫適期判定板**

使い方

- ほ場全体を見て、平均的な場所に入ります。
- 穂に判定板(黄板)の色がついている部分をあてます。
- 黄色く熟した籾(モミ)の割合を見て収穫時期を判断します。(判定板の色は熟した籾の色の目安です。)
※葉色にまわらばれずに、穂の黄色をみて判断してください。

——特に8月～9月の気温が高くなった場合は要注意——

※近年、出穂後(8月～9月)の気温が高く、黄熟日数が短くなってきています(下の表を参照)。
※最も短い年は、「コシヒカリ」で30日、「日本晴」で32日、「秋の晩」で34日となりました(平成29年)。

年次	品種名	コシヒカリ	日本晴	秋の晩
平成3年～12年		37日 (34～40日)	41日 (34～48日)	—
		33日 (30～37日)	36日 (32～40日)	39日 (34～44日)

近江米振興協会

(3) 病害虫防除

8月22日発表の「病害虫発生予報第9号」

(<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/yosatsu/yosatsuzyouhou/yohou/>) または、
県HPの [組織から探す](#) > [農政水産部病害虫防除所](#) > [発生予察](#) > [発生予察情報](#) > [病害虫発生予報](#) を参照

予報第9号より抜粋 中生、晩生品種対象の情報です

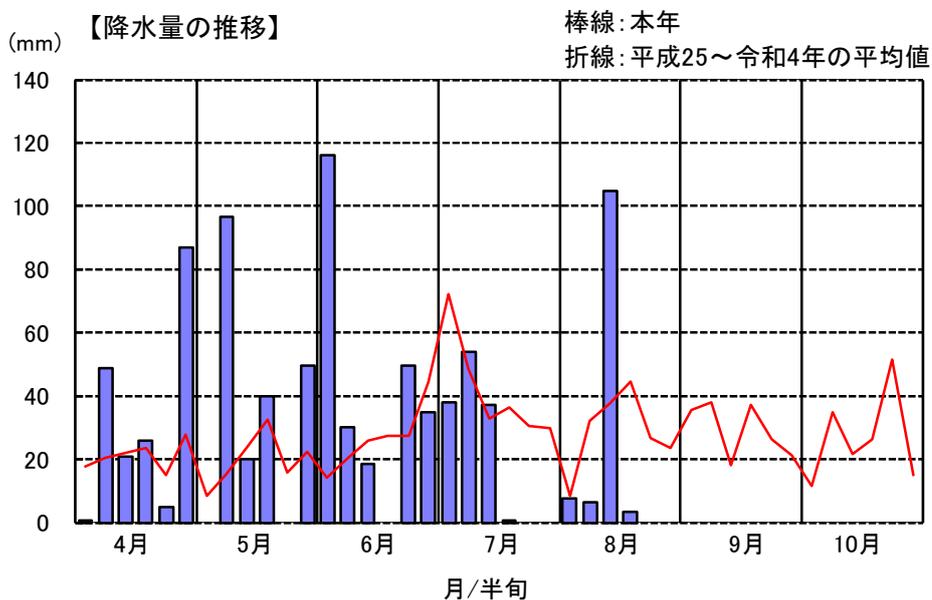
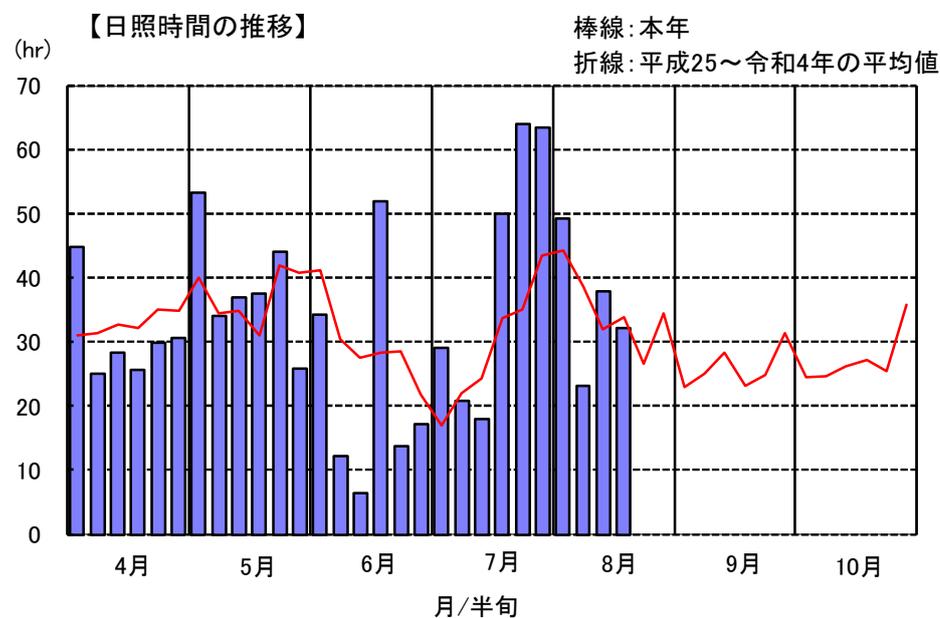
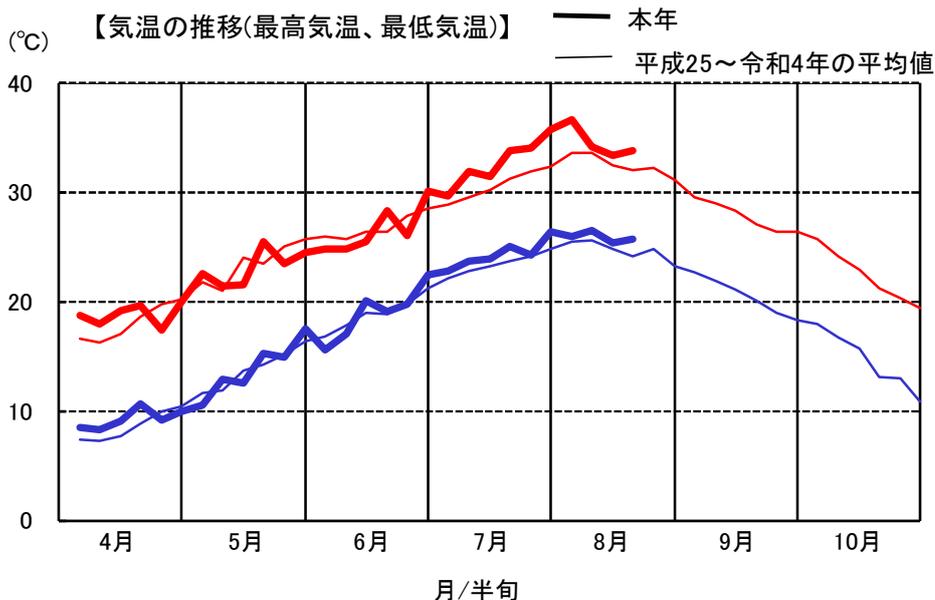
①トビイロウンカ【発生量：平年並】

- 予察灯への飛来が認められておれず、移植時に長期持続型箱粒剤を育苗箱施用したほ場および7月下旬～8月上旬に浸透移行性のある粉剤・粒剤・液剤を散布したほ場では、坪枯れ症状が発生する可能性は低い。
- 株元に幼虫が多数認められる場合は、直ちに防除を行う。

【参考サイト】

農業技術振興センター	http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/
病害虫防除所	http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/
彦根地方气象台	http://www.jma-net.go.jp/hikone/
早期天候情報	https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/

令和5年(2023年) 水稲作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



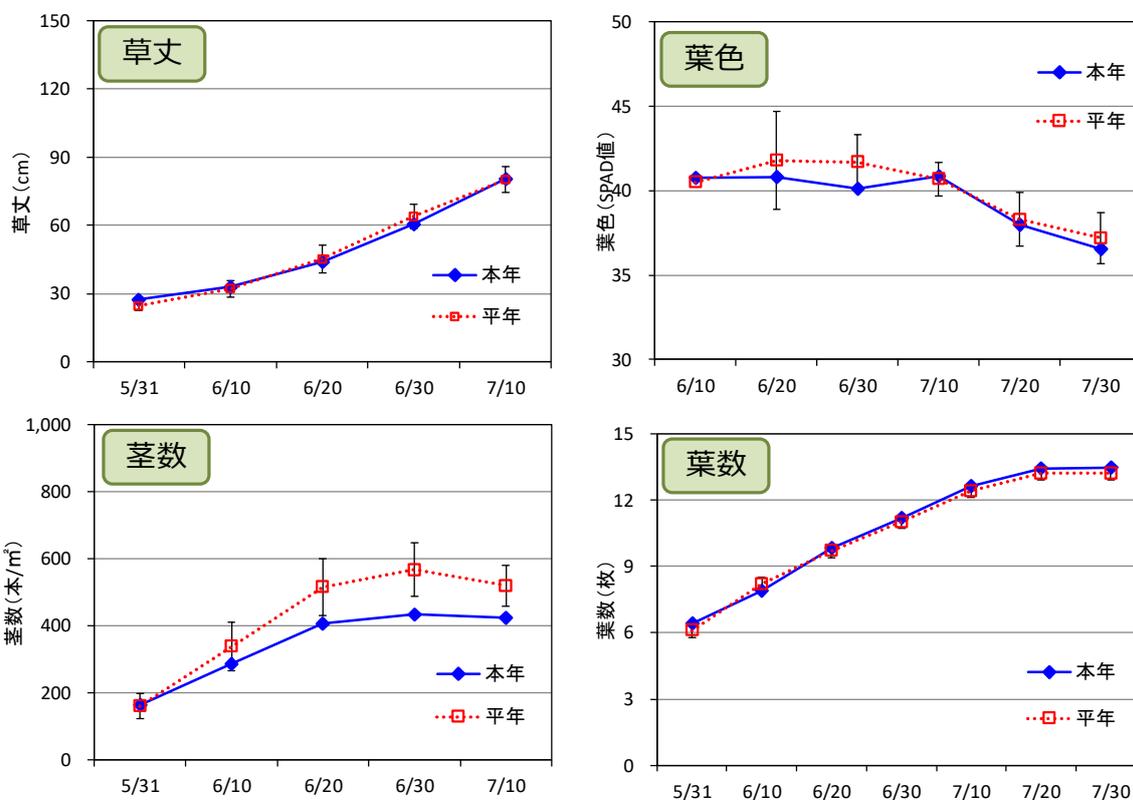
注) 平年は平成25～令和4年の平均値。 5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値。

令和5年(2023年) 水稲作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

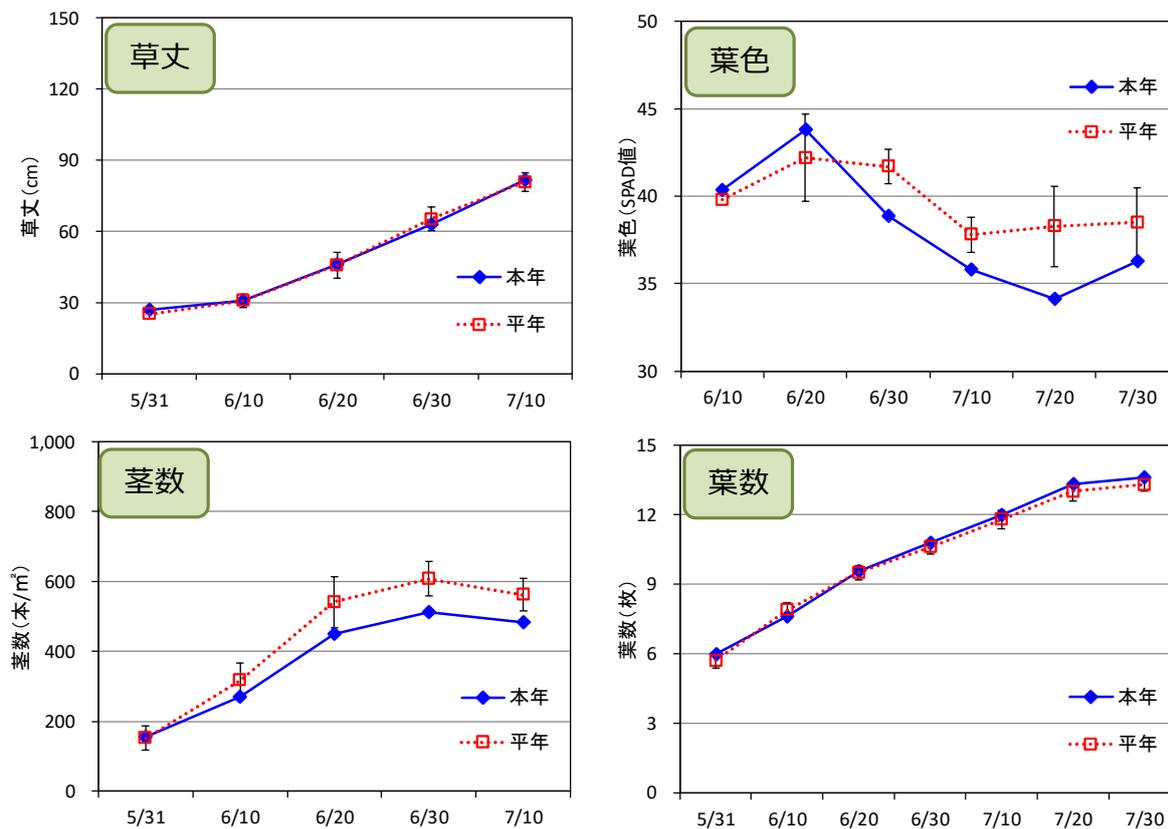
みずかがみ

播種: 4月21日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/㎡、植付本数: 3本/株



コシヒカリ

播種: 4月21日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/㎡、植付本数: 3本/株



注)平年は過去10年(H25年~R4年)の平均値。

きらみずき

播種: 4月21日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株

